

令和4年度 大阪市立梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
		国語	数学	理科	国語	数学	理科
3年	学校	45	64	42	41	4.5	14.8
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8
							3.4

令和4年度 大阪市立梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

<国語>

「話すこと・聞くこと・読むこと」において全国平均を下回ったが、「書くこと」においては全国平均を上回った。また、書写の「行書の特徴」を問う問題では全国平均と比べ13ポイント上回った。自分の考えが伝わる文章になるよう根拠を明確にして書く問題も全国平均を上回ることができた。しかし、「スピーチ文の読み取り」に関しては全国平均を下回る結果となった。

<数学>

「関数」領域の「一次関数の変化の割合の意味の理解度」を問う設問の正答率は全国平均を上回った。一方、「数と式」領域や「図形」領域の設問の正答率は全国平均、大阪府平均と比較して大きく下回った。

<理科>

全国の平均正答率と比べ、本校は「粒子」と「生命」の分野で差が大きく開いた。「粒子」の中でも特に化学変化を苦手としている様子が見られた。また、記述形式や実験の仮設・検証においても課題が見つかったため、今後演習等を積み重ねていく。

【今後に向けて】

<国語>

今回の結果を通して、「書くこと」に関しては問題に前向きに取り組み、正答率もよかつたが、「話すこと・聞くこと」に関する問題においては苦手意識がみられるので、スピーチの場を設けて学力の向上を目指していきたい。また、日々の授業の中で小テストをおこない知識の定着をはかっていく。

<数学>

演習の時間を多く確保することで、入試問題の基盤となる基礎計算力の向上を目指す。同時に、暗記だけでは対応できない関数や図形の単元で必要となる数学的思考力や論理的思考力を育む必要がある。具体的には、自分の考えを記述したり、事柄が成り立つ理由を説明させる学習場面を増やす。

<理科>

各分野単元終了後の演習問題において、記述式問題や実験を考察する問題の数を増やしていく。また、2月までには教科書の内容をすべて終了し、以降は1年生範囲から総復習を行っていく。授業スタイルを共同学習形式に変更し、生徒一人ひとりに合ったペースで、個人の課題を最大限に克服していく。

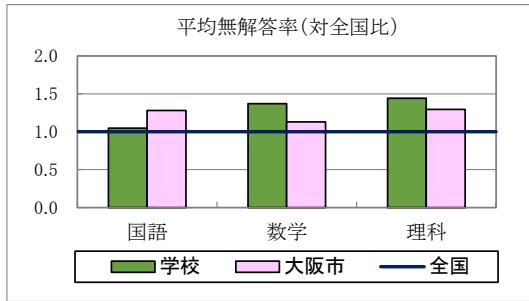
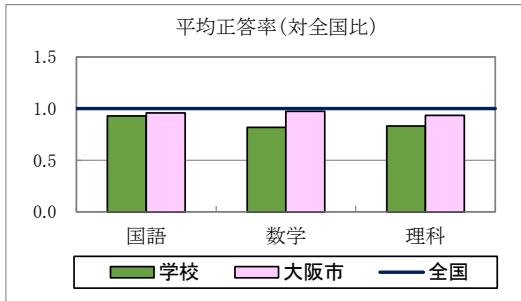
**令和4年度 大阪市立梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	64	42	41
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

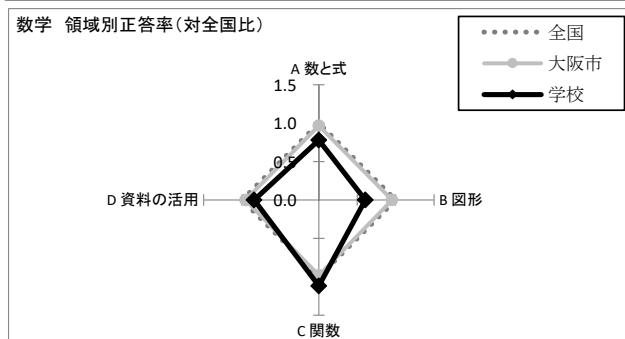
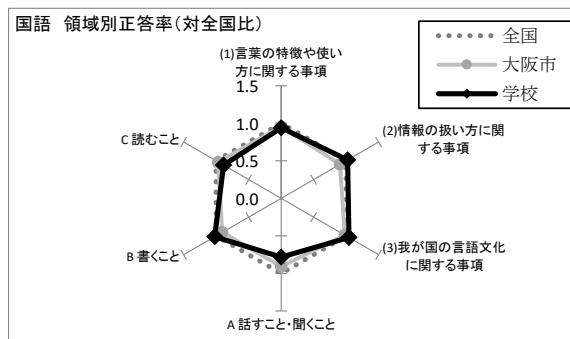
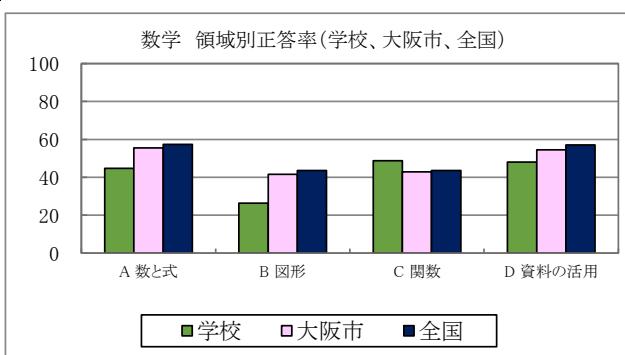
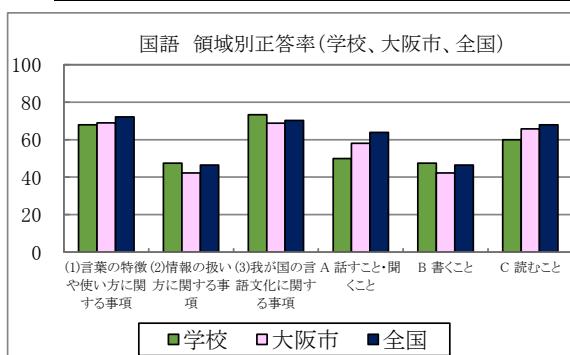
平均無解答率(%)		
国語	数学	理科
4.5	14.8	4.9
5.5	12.2	4.4
4.3	10.8	3.4



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	67.9	69.0	72.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	47.5	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化に関する事項	3	73.3	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	50.0	58.0	63.9
B 書くこと	1	47.5	42.2	46.5
C 読むこと	2	60.0	65.8	67.9

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	44.7	55.5	57.4
B 図形	3	26.4	41.6	43.6
C 関数	3	48.8	42.8	43.6
D データの活用	3	48.1	54.5	57.1

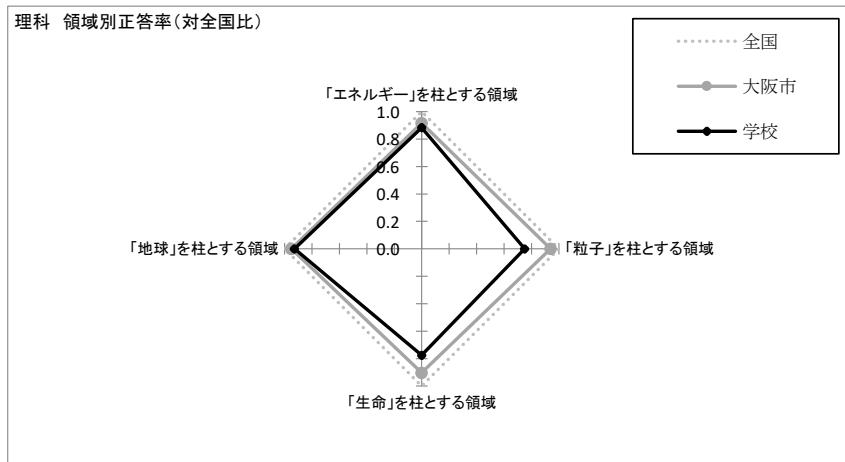
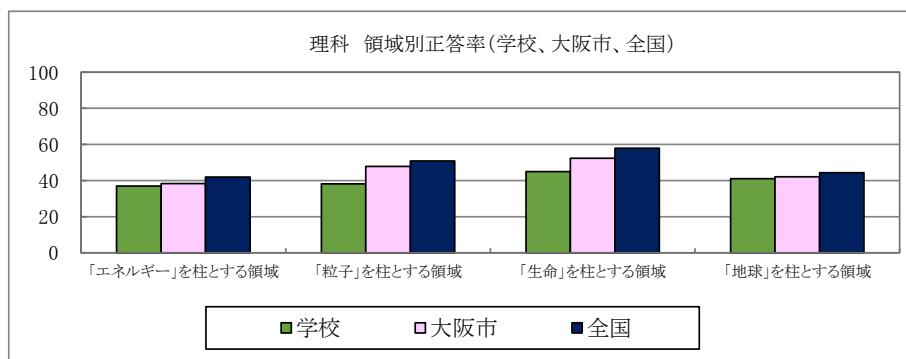


**令和4年度 大阪市立梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を柱とする領域	6	37.0	38.4	41.9
「粒子」を柱とする領域	5	38.2	47.8	50.9
「生命」を柱とする領域	5	44.9	52.3	57.9
「地球」を柱とする領域	6	41.1	42.1	44.3



**令和4年度 大阪市立梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

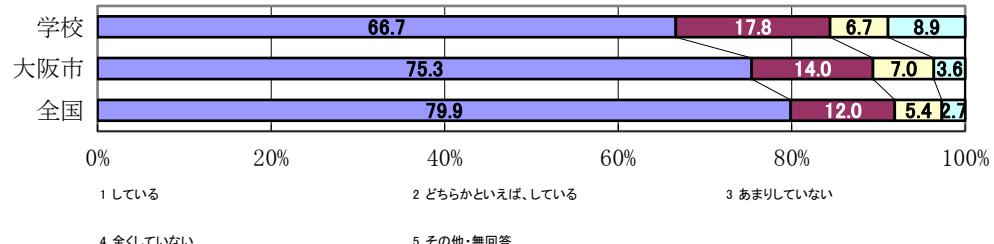
生徒質問紙より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

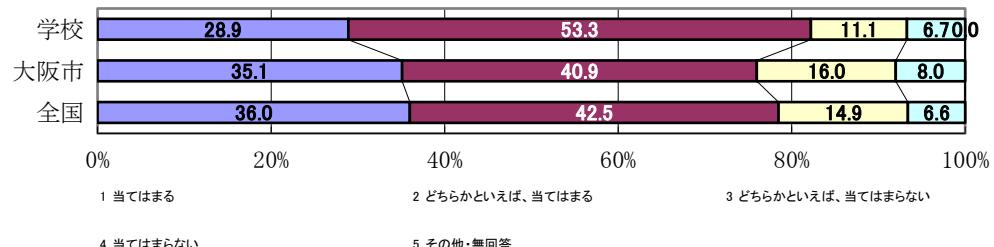
1

朝食を毎日食べていますか



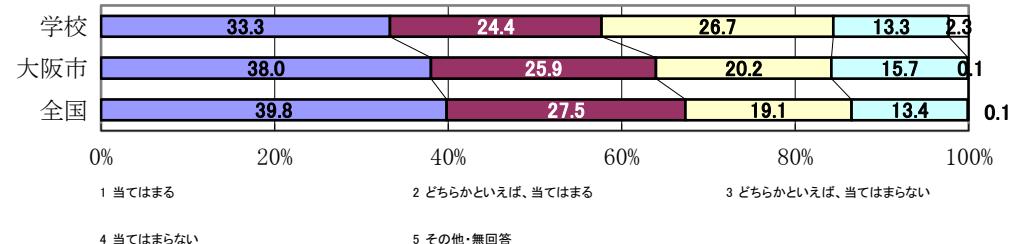
7

自分には、よいところがあると思いますか



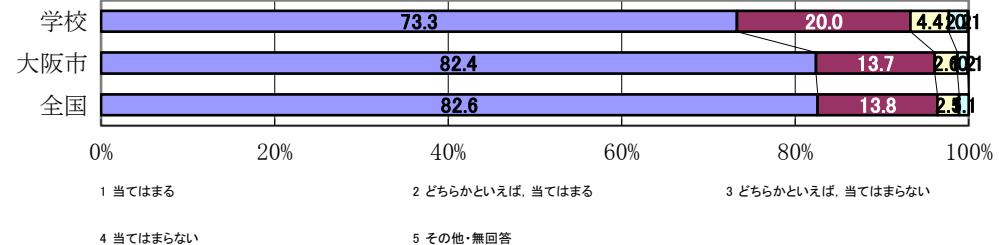
9

将来の夢や目標を持っていますか



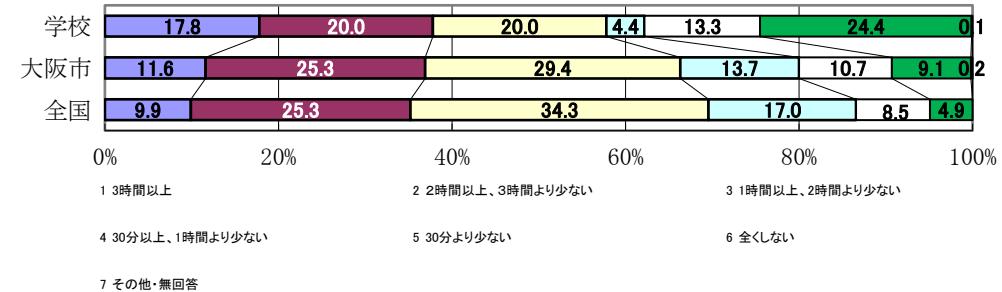
13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



令和4年度 大阪市立梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

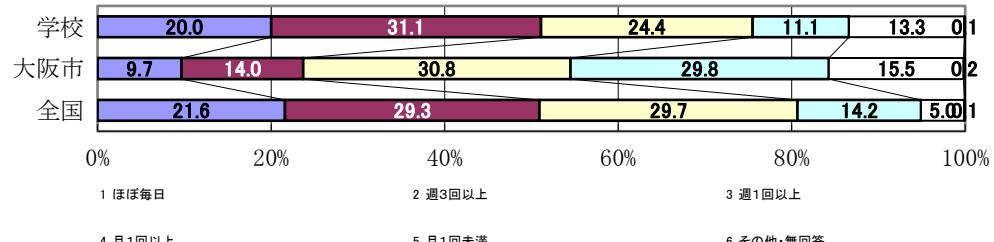
生徒質問紙より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

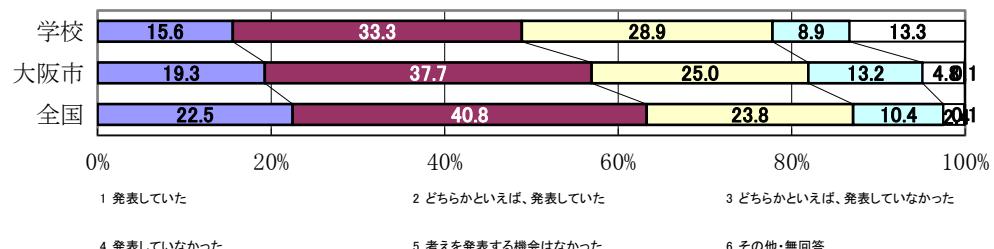
32

1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



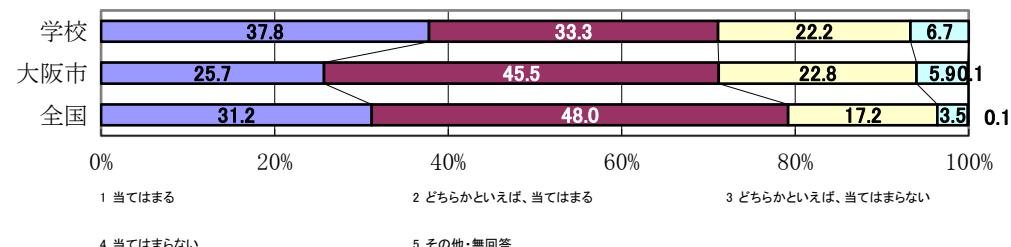
38

1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



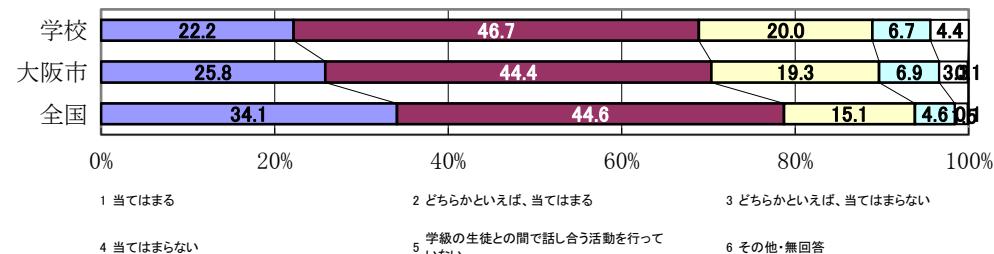
39

1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



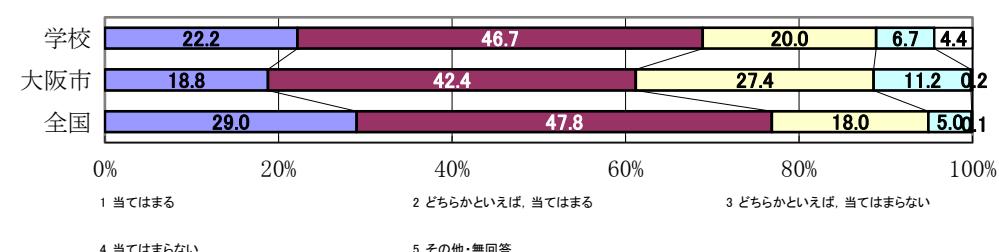
43

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



46

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



令和4年度 大阪市立梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

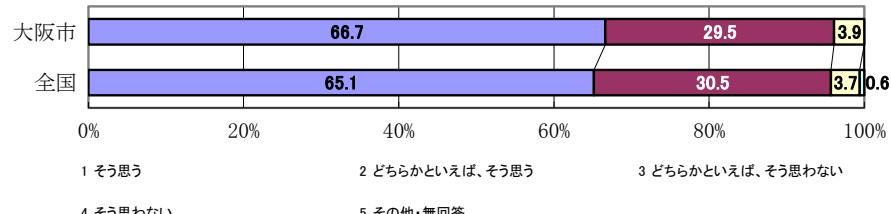
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

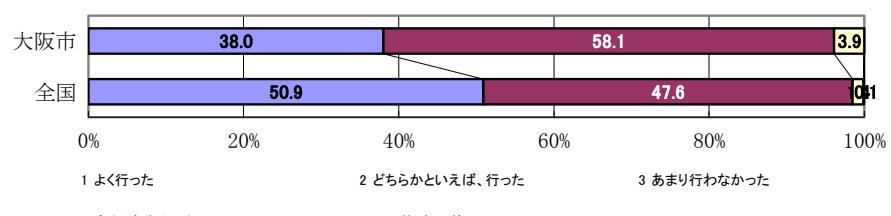
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

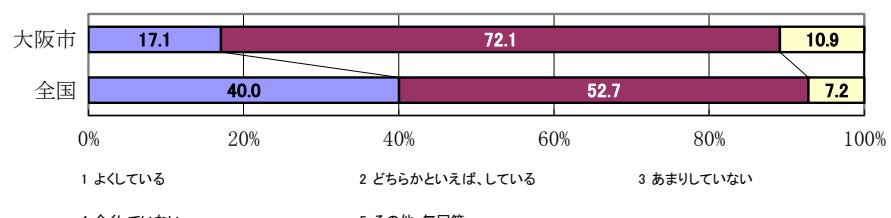
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

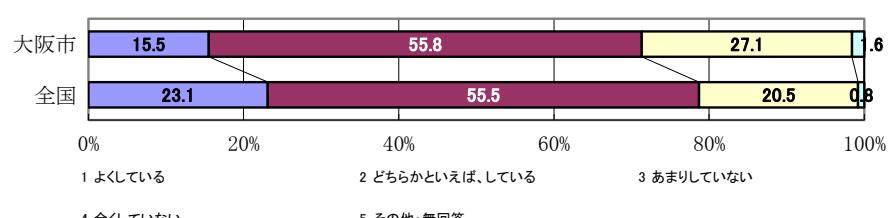
学校 「どちらかといえば、している」を選択



20

生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



29

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

